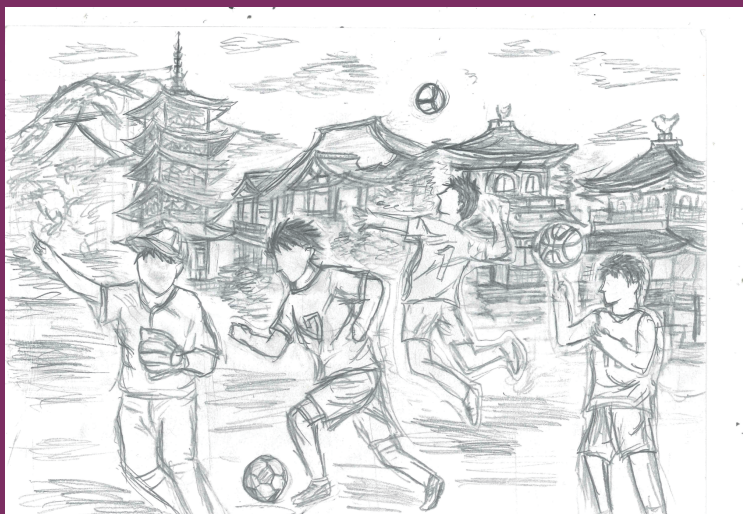
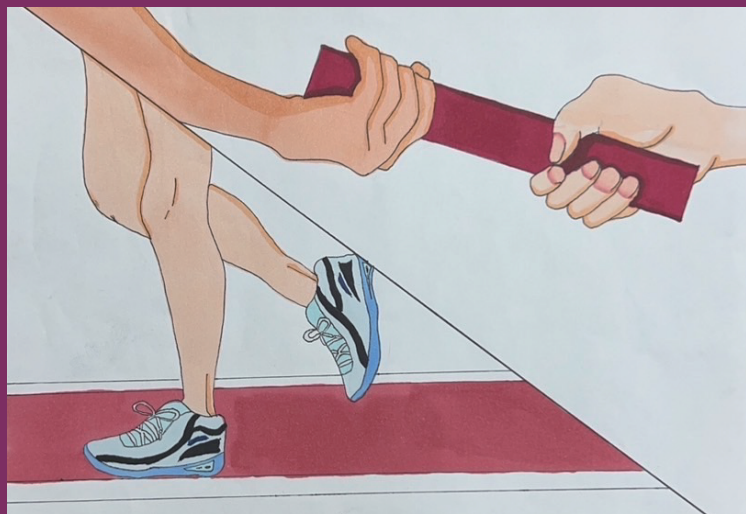


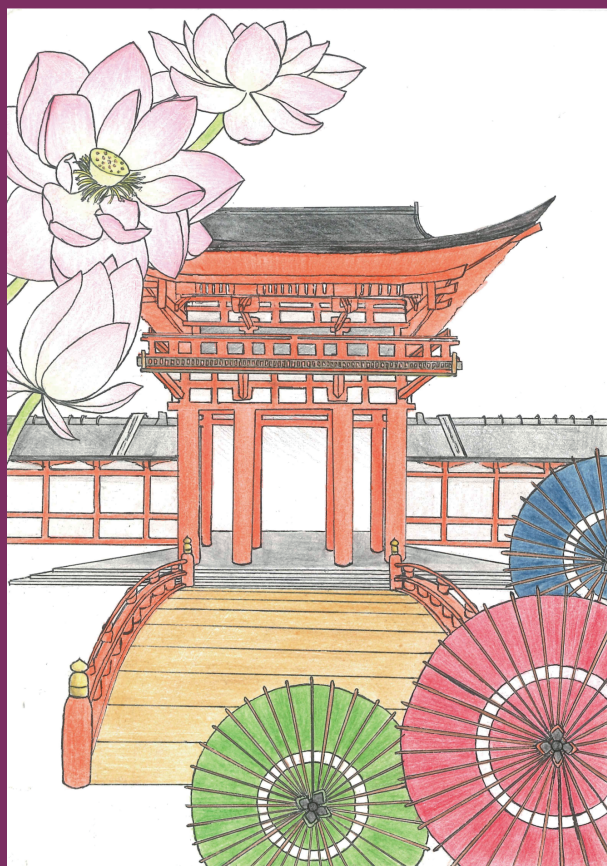


令和5年度

第40回記念大会

公益財団法人

日本中学校体育連盟研究大会



令和6年

1/18(木)・19(金)

ANA クラウンプラザホテル京都

主催／(公財)日本中学校体育連盟・近畿中学校体育連盟
京都府教育委員会・京都市教育委員会

主管／京都府中学校体育連盟

後援／スポーツ庁・全日本中学校長会

京都府中学校長会・京都市立中学校長会
(公財)日本教育公務員弘済会京都支部





挨拶

(公財)日本中学校体育連盟

会長 齊藤 正 富

794年の平安遷都より、1869年まで日本の首都として1000年以上の歴史があったことから「古都」と称される京都府京都市において、令和5年度第40回記念大会公益財団法人日本中学校体育連盟研究大会京都大会が開催されますことを、心よりお慶び申し上げます。また、本大会を共催していただきました京都府教育委員会、京都市教育委員会、近畿中学校体育連盟、そして御後援を賜りましたスポーツ庁、全日本中学校長会、京都府中学校長会、京都市中学校長会、公益財団法人日本教育公務員弘済会京都支部の皆様には御礼申し上げるとともに、主管されます京都府中学校体育連盟の皆様の御尽力に心より感謝申し上げます。

さて、現行の学習指導要領において、「部活動」は、生徒の多様な学びの場として教育的意義が大きいことから、学校の教育活動の一環であるとされています。しかしながら、少子化により、従前と同様の運営体制で維持することが難しくなっていたり、休日の活動も含めて教師の献身的な勤務によって支えられていることから、長時間勤務の要因になっていたりする実態があります。そのため、「部活動」については「将来にわたっての持続可能性」と「教師の働き方改革の推進」との両面から課題解決を図る必要があります。

令和4年6月6日にスポーツ庁長官に手交された「運動部活動の地域移行に関する検討会議：提言」は、少子化の中、将来にわたり我が国の子供たちがスポーツに継続して親しむことができる機会の確保に向けて、まずは、休日の運動部活動の地域移行を達成していこうとするものです。また、情報化の急速な進展により、社会が大きく変化する中で、AIなどの技術革新が進むSociety5.0という新たな時代に対応するため、学校教育も変革が求められています。

このように、今は、国の動向や学習指導要領等を踏まえ、「知・徳・体のバランスのとれた生徒の育成」及び「生涯にわたってスポーツに親しむことができる生徒の育成」を求め、「運動部活動の更なる発展」を考えなくてはならない時代です。これらの課題解決には、各都道府県中学校体育連盟の皆様の御支援と御協力が不可欠となります。改めてお願い申し上げます。

結びに、本研究大会の開催に向けて御準備いただきました京都府中学校体育連盟の皆様には敬意を表するとともに、本研究大会の成功と全国から参加されております会員の皆様の益々の御活躍を祈念し、大会の挨拶といたします。

令和5年度 第40回記念大会（公財）日本中学校体育連盟研究大会京都大会要項

- 1 趣 旨 （公財）日本中学校体育連盟（以下、本連盟という）は、本連盟に加盟する中学校の体育・運動部活動指導者が一堂に会し、当面する諸課題及びこれからのよりよい体育・運動部活動の目指す方向等について、日頃の実践的な研究成果を発表し、研究協議と情報交換をする機会とすることにより、生涯スポーツの充実・発展を資するために、（公財）日本中学校体育連盟研究大会を開催する。
- 2 主 催 （公財）日本中学校体育連盟 近畿中学校体育連盟
京都府教育委員会 京都市教育委員会
- 3 主 管 京都府中学校体育連盟
- 4 後 援 スポーツ庁 全日本中学校長会 京都府中学校長会
京都市立中学校長会 （公財）日本教育公務員弘済会京都支部
- 5 日 時 令和6年1月18日（木） 12：45～17：00 【第1日目】
1月19日（金） 9：00～11：30 【第2日目】
- 6 会 場 A N A クラウンプラザホテル京都
〒604-0055 京都市中京区堀川通二条下ル土橋町10番地
Tel：075-231-1155 Fax：075-231-5333
- 7 参加対象 （公財）日本中学校体育連盟に加盟している都道府県中体連から8名以内とする。
但し、特別賛助会員は、各社各分科会に2名以内の参加を認める。
- 8 研究主題とその内容
 - （1）研究主題 「豊かなスポーツライフの実現に向けて
～持続可能な運動部活動の在り方と中体連の役割～」
 - （2）内 容
 - ① 全体会
 - A 講演
演 題：『中体連と全中の歴史
～これからの中学校運動部活動を考えるために～』
講 師：早稲田大学 スポーツ科学学術院 教授 中澤 篤史 氏
 - B シンポジウム
協議題：『中学生にとっての運動部活動の存在とは
～“変化”に期待すること～』
 - コーディネーター
森脇 健児 氏 松竹芸能株式会社 タレント
 - シンポジスト
大村 加奈子 氏（京都府立北嵯峨高等学校 教諭 バレーボール部 顧問）
高岡 寿成 氏（花王株式会社 陸上競技部 監督）
平野 佳寿 氏（オリックス・バファローズ 選手）
宇津木 美都 氏（大阪体育大学 水上競技部 選手）
 - ② 分科会
次のテーマごとに分科会を設け、パネルディスカッション形式により研究発表及び研究協議を行う。研究発表が割り当たっている当該中体連の発表者はパネリストとなる。

- 第1分科会（中体連の組織・運営）
「中体連の組織及び競技会の在り方とその運営」
- ・望ましい中体連組織の運営及び諸課題への対応
 - ・望ましい競技会及び諸課題への対応
- 第2分科会（育成・健康安全）
「豊かな心と健やかな体を育む運動部活動」
- ・生徒の主体的・協働的な力を育む運動部活動の運営
 - ・意欲を喚起させる運動部活動経営
 - ・競技力向上や健康体力の保持増進を目指した運動部活動
 - ・運動部活動における健康安全管理
- 第3分科会（連携）
「連携でつくる運動部活動」
- ・学校教育活動との関連・連携による運動部活動の活性化
 - ・地域単位で支える運動部活動経営の在り方
 - ・部活動指導員及び外部指導者の活用と連携
 - ・関係諸機関及びスポーツ団体との連携・協力の在り方
- 第4分科会（課題対応）
「当面する運動部活動の諸問題」
- ・生徒減少期における運動部活動の在り方
 - ・指導者の資質向上
 - ・持続可能な学校運動部活動の運営

9 日 程

第一日	10:00	12:00	12:45	13:25	14:45	15:00	16:50	17:00
	司会者・発表者 助言者・記録者 運営責任者 打合会 (機器調整を含む)	受付	開会 行事	講 演	休 憩	シンポジウム	次 年 度 挨拶	

第二日	8:45	9:00	11:20	11:30
	受付	分科会 研究発表及び協議 (パネルディスカッション)	分科会 会行 別事	

10 発表者及び提出資料

(1) 研究発表担当都道府県及び順序（発表時間15分程度）

形 式	第1分科会	第2分科会	第3分科会	第4分科会
研究発表 (パネリスト)	北信越・石川 関東・茨城	東海・愛知 東北・秋田	北海道 中国・岡山	四国・徳島 九州・宮崎
紙上発表	近畿・兵庫	近畿・滋賀	近畿・和歌山	近畿・大阪
指導助言者	(公財) 日本中学校体育連盟			
	近畿・兵庫	近畿・滋賀	近畿・和歌山	近畿・大阪
司会者	近畿・兵庫	近畿・滋賀	近畿・和歌山	近畿・大阪
運営責任者	実行委員会（京都府中学校体育連盟）			
記録者	実行委員会（京都府中学校体育連盟）			

(2) 提出資料の種類

- ① 研究発表担当都道府県中体連からの提出資料
 - ・分科会の研究主題に基づいた実践研究の成果
- ② その他
 - ・都道府県または学校の優秀な資料

(3) 提出資料の取り扱い

上記①・②の各資料を研究紀要としてまとめ、各都道府県中体連・司会者・助言者等には事前に送付する。

(4) 提出資料の作成要領

- ① 研究発表担当都道府県中体連からの提出資料
 - 資料は、分科会ごとの研究テーマに沿って各都道府県中体連で特に解決を迫られている課題、かつ将来的にかかるべきとする提言等について、具体的な案をまとめて作成する。分科会のサブテーマとして挙げられているものの中から選ぶか、それに関連するテーマを独自に取り上げてよい。
- ② その他
 - 提出原稿
 - ・ワープロソフト「Word」を使用する。
 - ・ワープロ規格A4判（横40字×縦36行）により、4枚にまとめる。
 - ・発表で使用するプレゼンテーションソフトは「パワーポイント」を使用する。（原稿・資料のデジタルデータを送付する）
 - ・研究物、資料があれば別途提出する。
 - ・提出原稿の図表等は明瞭なものにする。
 - ・大会終了後、研究紀要等を（公財）日本中学校体育連盟のホームページに掲載する。

(5) 提出方法

- ① 発表者の報告 令和5年9月15日（金）
- ② 原稿提出期日 令和5年10月27日（金）
- ③ 提出先 〒602-8570 京都市上京区下立売通新町西入藪ノ内町
京都府教育庁指導部保健体育課内
京都府中学校体育連盟事務局
浅野 勇人
Tel 075-414-5862 Fax 075-414-5863
E-mail chutairen@kyoto-be.ne.jp

11 参加申込及び参加費

(1) 申込方法

※申込フォームよりweb申込を行う。
（京都府中体連のHPよりリンクあり）

- (2) 申込締切日 令和5年10月31日（火）
- (3) 申込先 別紙宿泊要項による
- (4) 参加費 一人 6,000円

12 その他

(1) （公財）日本中学校体育連盟研究部会の開催

日 時 令和6年1月17日（水） 14:00～16:00
1月18日（木） 9:00～10:00（予備）
会 場 ANAクラウンプラザホテル京都
〒604-0055 京都市中京区堀川通二条下ル土橋町10番地
Tel: 075-231-1155 Fax: 075-231-5333

(2) 宿泊については別紙宿泊要項による。

(3) 医療、救護については、別紙に記載

令和5年度 第40回記念大会(公財)日本中学校体育連盟研究大会 京 都 大 会 日 程

一 日 目	10:00	12:00	12:45	13:15	13:25	14:45	15:00	16:50	17:00
	司会者・発表者 助言者・記録者 運営責任者 打合会	受 付	開 会 行 事	講 演 準 備	講 演	休 憩	シンポジウム	次 年 度 換 拶	
二 日 目	8:45	9:00		11:20	11:30				
	受 付	分科会 研究発表及び協議 (パネルディスカッション)		分科会 別閉会 行事					

【1日目 1月18日(木)】

会 場 : A N A クラウンプラザホテル京都

1 開会行事 12:45~13:15 2階 平安

- (1) 開会のことば 京都府中学校体育連盟副会長 井上 達夫
 (2) 国歌、(公財)日本中学校体育連盟歌 斉唱
 (3) 主催者あいさつ (公財)日本中学校体育連盟会長 齊藤 正富
 京都府教育委員会教育長 前川 明範
 (4) 祝辞 スポーツ庁地域スポーツ課長 橋田 裕
 (5) 歓迎のことば 京 都 市 教 育 長 稲田 新吾
 (6) 来賓紹介 京都府中学校体育連盟副会長 川口 研一
 (7) 基調報告 京都府中学校体育連盟会長 野川 晋司
 ※ 日程説明 京都府中学校体育連盟理事長 岸本 卓也

2 講 演 13:25~14:45 2階 平安

- 講師紹介 京都府中学校体育連盟副理事長 北村 眞也
 演 題 『中体連と全中の歴史～これからの中学校運動部活動を考えるために～』
 講 師 早稲田大学教授 スポーツ科学学術院 中澤 篤史 氏
 謝 辞 京都府中学校体育連盟副会長 川口 研一

3 シンポジウム 15:00~16:50 2階 平安

『中学生にとっての運動部活動の存在とは ～“変化”に期待すること～』

・コーディネーター

森脇 健児 氏 (松竹芸能株式会社 タレント)

・シンポジスト

大村 加奈子 氏 (京都府立北嵯峨高等学校 教諭 バレーボール部 顧問)

高岡 寿成 氏 (花王株式会社 陸上競技部 監督)

平野 佳寿 氏 (オリックス・バファローズ 選手)

宇津木 美都 氏 (大阪体育大学 水上競技部 選手)

次期開催地あいさつ

石川県中学校体育連盟会長 可長 俊太

【2日目 1月19日（金）】

会 場 : A N A クラウンプラザホテル京都

4 分科会 9 : 00 ~ 11 : 20

第1分科会（2階 平安①）

『中体連の組織及び競技会の在り方とその運営』

パネリスト	石川県中学校体育連盟	参 与	吉本 祐
	茨城県中学校体育連盟	副 会 長	石川 洋
紙 上 発 表	兵庫県中学校体育連盟	副 会 長	大槻 隆浩
助 言 者	(公財)日本中学校体育連盟	副 会 長	田中 節寛
	兵庫県中学校体育連盟	会 長	角南 賢司
司 会 者	兵庫県中学校体育連盟	理 事 長	高尾 研一
運営責任者	京都大会実行委員会	副 会 長	川口 研一

第2分科会（2階 平安②）

『豊かな心と健やかな体を育む運動部活動』

パネリスト	愛知県中小学校体育連盟	研究部協力員	三山 直彦
	秋田県中学校体育連盟	研 究 委 員	成田裕一郎
		研 究 委 員	鎌田 祐輔
紙 上 発 表	滋賀県中学校体育連盟	研究部委員	中村 翔馬
助 言 者	(公財)日本中学校体育連盟	副 会 長	小野坂寧晃
	滋賀県中学校体育連盟	会 長	高田 毅寛
司 会 者	滋賀県中学校体育連盟	理 事 長	森 寛
運営責任者	京都大会実行委員会	副 会 長	片岡 真澄

第3分科会（2階 平安③）

『連携でつくる運動部活動』

パネリスト	北海道中学校体育連盟	調査研究専門委員	三根 貫太郎
	岡山県中学校体育連盟	調査研究部理事長	山地 美秀
紙 上 発 表	和歌山県中学校体育連盟	理 事 会	梅本 将志
助 言 者	(公財)日本中学校体育連盟	副 会 長	五十嵐守男
	和歌山県中学校体育連盟	会 長	吉川 豊
司 会 者	和歌山県中学校体育連盟	副 会 長	溝渕 俊二
運営責任者	京都大会実行委員会	副 会 長	松林周一郎

第4分科会（2階 朱雀）

『当面する運動部活動の諸問題』

パネリスト	徳島県中学校体育連盟	事務局次長	近藤俊一郎
	宮崎県中学校体育連盟	副 理 事 長	佐藤 雄太
紙 上 発 表	大阪中学校体育連盟	副 理 事 長	南野 貴志
助 言 者	(公財)日本中学校体育連盟	副 会 長	金子 哲朗
	大阪中学校体育連盟	理 事 長	西田 知浩
司 会 者	大阪中学校体育連盟	顧 問	林 憲治郎
運営責任者	京都大会実行委員会	副 会 長	井上 達夫

5 閉会行事 11 : 20 ~ 11 : 30 各分科会場

- (1) 開催府あいさつ 京都府中学校体育連盟代表
(2) 閉会のことば

基 調 報 告

第40回記念大会（公財）日本中学校体育連盟
研究大会京都大会実行委員会 会長

野 川 晋 司

昨今、学校における部活動は少子化や働き方改革、部活動の地域移行の影響を大きく受け、過渡期を迎えています。そして、中学生にとって、部活動の存在が大きく変わろうとしています。長年、部活動は学校教育の一環として行われ、中学生の自己の成長の場として、競技や活動を通じて、チームメンバーと協力することにより、リーダーシップやスキルを、さらには困難を回避するための自己決定力、挫折を乗り越えるための精神力を身に付けるといった中学生にとって大きな役割を果たしてきました。一方、部員や指導者の確保、部活動指導による超過勤務等、課題が山積であることも事実です。

令和5年度全国中学校体育大会より、地域クラブ活動の参加が特例として認められました。昨年度より（公財）日本中学校体育連盟を中心とし、各都道府県で議論を重ね、何とか大会を迎えることができました。今年度の反省を受けて、引き続き、議論を重ね、改善していくことが大切となります。

本研究大会も昭和60年に開催された第1回東京大会から始まり、今回の京都大会で第40回記念の節目を迎えます。第1回目の研究主題は「生涯体育を指向した部活動の在り方」でした。そして、今回の研究主題は3年目を迎える「豊かなスポーツライフの実現に向けて～持続可能な運動部活動の在り方と中体連の役割～」となります。講演会やシンポジウムの中で、専門的な知識や経験を聞かせていただき、また、分科会では各都道府県の異なった環境での取組や実践事例の情報交換や意見交流を行い、そして、それらを通じて、今後の運動部活動の在り方について考えるきっかけの場にしたいと考えます。

結びに、本研究大会が、（公財）日本中学校体育連盟の発展はもとより、運動部活動に携わる多くの方々の飛躍につながることを祈念いたしまして、基調報告とさせていただきます。